

第41巻 第1号 予告

特集「大都会の高齢者」

巻頭言	高石昌弘
都市環境と高齢者のくらし	松本暢子
健康社会学的視点からの都市と高齢者	島内憲夫
都会の高齢者の生きざま	前田秀雄
都会でケアの必要な高齢者の生きざま	新津ふみ子
共に生きる住民として、高齢者を支える	北川侑子, 佐谷けい子

第41巻 第2号：特集「受動喫煙(仮題)」

第41巻 第3号：特集「地方衛生研究所(仮題)」

編集後記

保健医療分野の国際協力に対する関心がますます高まってきておりますが、我が国のこの方面の歴史が浅いこともあって成熟した段階に達していないことがしばしば指摘されています。今回の特集はより充実した国際協力を行なうためにどのような内容、そしていかなるアプローチをもってすればそれが可能になるかに焦点を当てました。

最近、労働力不足から大勢の外国人が日本にやってきております。その中で、結核やエイズ問題が議論されたり、外国人就学児童への対応が学校保健でも取り上げられています。海外に赴任した日本人家族の健康問題もかねてより注目を浴びておりました。

こうして国際交流がますます盛んになりますと、かつては遠く外国の出来事と眺めていた問題が今ではたちまち国内問題に転化しうる可能性を持つにいたっております。

もちろん国内でも重要な公衆衛生的な課題が山積みされており、保健所や地域の衛生研究所が日々それらに忙殺されていることは公衆衛生院に籍を置く者として十分承知していますが、それでも10年先あるいは20年先の公衆衛生の問題を考えた場合、国際化、情報化の波がますます進行する中で公衆衛生の問題が国内だけで自己完結するとはとても思えません。

すでに、地域環境問題がその方向で進んでいることはよく知られています。Think globally, act locallyと言われているのは国内の取り組みでも常に国際レベルで考える習慣をつけることが大事という解釈でしょう。今回の国際協力の特集は初めてですので、限られた側面からアクセスしましたが、次の機会に国内の実的な問題との接点を求めて取り組みたいと思います。読者の皆様から編集委員会宛に御意見頂ければ幸いです。

(林 謙治)